伊野コミュニティセンター広報誌　第69号（R5.5月発行）

いのぼ～るの彼女

伊野－INO－ ～やって未来（みら）こい！ ENO（いーの）暮らし2030～

いのぼ～る

発行：伊野コミュニティセンター
〒691-0072　出雲市野郷町492-5
Tel：(0853) 69-1526　Fax：(0853) 69-1530
E-mail：ino-cc@local.city.izumo.shimane.jp

伊野コミュニティセンターホームページ　伊野地区自治協会ホームページ　伊野地区自治協会Facebook　伊野地区自治協会Instagram

―伊野地区の人口―
（R5.4月末現在）
男性…　570人
女性…　616人
合計…1,186人
世帯数…422世帯

いのっ子かけっこ教室

4/30　参加者62名

子どもたちに走る楽しさ、からだを動かす楽しさを体験してもらおうと伊野小児童を対象にかけっこ教室を開催。元陸上3000m障害日本代表選手である荒井悦加さんを講師に招き、走り方の基礎とメンタルについて指導を受けました。児童は腿の上げ方や腕の振り方、姿勢等を意識することで速く走れるように。その後、保護者も一緒にグループに分かれてドミノワークを行い、外的要因と内的要因のバランスがスポーツメンタルには大切であることを教わりました。参加者はトップアスリートよりからだを動かす楽しさを学ぶことができました。　（コミセン自主企画事業　スポーツ部）

あいさつ運動

（青少年育成協議会）

4/12

コミセン前を下校する児童

「さようなら～」

「気を付けてね～」

新年度始

伊野ユイー長　福田英治

私っ（）伊野一年過、年目向。出雲市中小ュ、っ過、思（汗）。出雲市43ュイ（公民館）、全体集「伊野活気。（私何え」声掛え。」「伊野活動盛。）年間伊野色方話聞頂事出来中感、伊野っ「人、鼻高。あ」傍聞や、答、一緒実現向考動生話。っ、っ未来ッ地域協力隊朝枝隊員中心、様新活動勃発。大切数、活動広知っ頂広報、一緒活動仲間増活動。一方高齢化進町内会活動運営来。新型類引下、年間空白経活動果年前同、実情適合形全従来通開催新催事種目考案必要っ思知恵絞っ行よ。今、未来ッ、新関係人口増加、更ー促、「空家対策部会」立上「伊野暮体験」企画計画。農水部会遂草刈隊「伊野ーオー」結成決断。（現在隊員募集中）今年伊野ュイっ方、暇熱波参加活動。知恵力、伊野盛上行参加頂よ。

地域おこし協力隊
朝枝尚子（あさえだしょうこ）さん
連載 ―第6回―

朝枝＠協力隊の出雲伊野暮らし

【伊野焼肉のたれ販売開始】

里山の植物観察が楽しい季節。新緑が目にまぶしいです。

去る5月12日、伊野焼肉のタレ「inonotare」の販売がスタートしました。おかげ様で順調なスタートを切ることができ、ありがたく思っています。地域おこし協力隊としての私の活動テーマの一つが“地域資源の掘起こし”です。ひと言に地域資源といっても多様で、自然環境（地形や気候、動植物、食材）、歴史文化・風習、人など、まさに地域そのものといったイメージです。ほかの地域と比較して秀でる特別なものがないように思っても、「地域にとって当たり前の日常が、他から見れば宝物の非日常」というのは往々にしてあるものです。そして私が思う魅力的な地域のバロメーターは、“地域にあるもの・地域に根付いていること・地域に生きる人”をその地域に生きる人達がどれだけ活かしているか、ということ。伊野はとても魅力的な地域です。伊野で親しまれている焼肉のタレもまた、魅力的な伊野を形作る一つのピースです。タレそのものの美味しさももちろんですが、地域の人達が集まって作業し、分け合って各家庭で楽しむ。同じ時間と味を共有するということが素敵なことだと思うのです。そんな焼肉のタレを商品として販売することで、伊野という地域の魅力をたくさんの人達に感じてもらえたら嬉しいです。タレで使用する玉ねぎやニンニク、ショウガなどの材料も、いずれは伊野産のものが使えたらと思っていますので、ぜひご協力をいただけたらと思います。

商品化に向けて動き出してから約9か月。やっと販売を迎えた「inonotare」です。容器やネーミング、パッケージのデザイン等、悩みに悩み、たくさんの人に相談しました（笑）。昨年夏にはじめて出会った伊野焼肉のタレは、今では私にとっても特別で大切な焼肉のタレなのです。

和ハーブのススメ 6月 【タラノキ】ウコギ科　タラノキ属

タラノキ

人気の山菜として有名なタラノキは、山火事の跡や山林の斜面など、日当たりのよい場所が好きなパイオニアプランツの代表です。春の新芽はタンパク質と脂質が多く、少しの苦みとさわやかな香りが最高においしいです。ですが、幹にも成長した葉にも鋭いトゲトゲ。大学卒業後の数年間お世話になっていた浜田のお茶農家では、冬の間たくさん草刈りをしました。茶畑の斜面に毎年たくさんのタラノキが生え、それを草刈り機で刈るのです。ある時、草刈りをしていた私は足を何かにひっかけて転びそうになりました。両手には草刈り機、足元は斜めの草むら。何とかバランスをとって転ばずに済みましたが、つまずいた拍子にけり上げた1本のタラノキを、見事に膝のうらに挟んで正座する格好に……。ふくらはぎと太もものうらにあのトゲがグサグサと刺さり、あまりの痛さにしばらくは動けなかった苦い思い出があります。

山菜のイメージが強いタラノキですが、実は日本の民間療法“和薬”の中では大切な薬用樹木です。使用部位は根の皮。胃腸病、強壮などに薬効が知られています。糖尿病に対して予防効果があり、ダイエットのお茶として有効なのだそうです。そういえばタラの根にもあのトゲトゲはあるのでしょうか？写真は以前住んでいた彦根の家の裏庭に植えていたタラノキです。成長が早いので、新芽のシーズンには強めに剪定し、家の中でタラノメ狩りを楽しんでいました。

やって未来（みら）こい！通信 続報

参加者60名

5/3 棚田の小さな音楽会　交流部会

新緑と稲が植えられたばかりの水田に囲まれた棚田の一画で、4組の団体が出場する音楽会を開催。天候にも恵まれ青空の下、演者の皆さんの心地よい歌声と楽器の音色がそよ風に乗って里山に響いていました。道行く人や農作業中の皆さんも足を止め聴き入る様子も。本格ピザ釜で焼いたあつあつのピザも好評で参加者の皆さんは連休中のひと時、心地よい時間を過ごされたようです。

参加者300名超

5/14 こどもマーケット

ino.ti ～中山間地域の未来へ～主催によるこどもマーケットがコミセン前で開催され、地区内外から300名を超える家族連れが来場し、賑わいました。このイベントは昨年度10月に初開催されこの度2回目。この日は7店舗が出店し、お菓子釣りや魚釣り、フリーマーケットやアクセサリーの販売、ワークショップなど子どもたちが準備や工夫を凝らしたお店が並び、来場者は各お店を巡って楽しんでいました。合わせて大人の飲食ブースの出店もあり、会場は親子で楽しむ様子と元気いっぱいの子どもたちの熱気に包まれていました。次回は出張こどもマーケットを9月31日、10月1日にゆめタウン出雲で開催予定です。

伊野地区各種団体長・委員名簿

自治協会	会長	錦織　宏	遺族会会長　山崎　義興
	副会長	川瀬　清司	同和教育推進協議会長　錦織　宏
	理事	福田　英治	環境保全連合会伊野支部長　松本　恭尚
		佐藤　勝	小学校ＰＴＡ会長　岩成　久
		松本　邦彦	土木委員長（担当　高山　引木　大谷　団地）
		多久和幸利	
		竹内　良洋	土木委員　佐藤　賢治
		白石　直樹	（担当　西地合）
	監事	奥村　春樹	（担当　東地合）　多久和直夫
		原田　敏照	（担当　堂森　金森）　倉橋　真一
		岩成　寿信	（担当　畑　大畑）　原田　一夫
	代議員	町内会長団体長	（担当　三谷　松枝　中手）　多久和文夫
小学校長		渡部　秀文	（担当　西上　西灘　畑中）　原田　康博
児童館長		錦織　宏	民生児童委員協議会長　松本　剛美
体育協会長		多久和秀政	（担当　西地合　東地合）
消防後援会長		山崎　美吉	民生児童委員　岩成　正美
社会福祉協議会長		岩成　正美	（担当　堂本畑　金森　大畑）　山崎　敏美
交通安全対策協議会長		池尻　文雄	（担当　三谷　松枝　中手　高山）　池尻　文子
交通安全協会支部長		池尻　文雄	（担当　西上　西灘　畑中　奈良　瑞）　山崎　智子
消防分団長		岩成　潤	主任児童委員　景山　大圓
土地改良区理事長		山崎　敏美	保護司　池尻　文雄
高齢者連合会長		山崎　義興	少年補導委員　多久和耕二
壮年会長		堀田　眞	農地利用最適化推進委員　多久和奈穂子
運営委員会会長		錦織　宏	健康推進員　原田　陽子
児童館運営委員長		福田　英治	ユニット長　福田　英治
青少年育成協議会長		山崎　啓子	ヤング　門脇
子育て安全守会会長		錦織　宏	ヤング　常松　子
伊野っ未来プロジェクト代表		山崎　美吉	ヤング　高木　真理
向陽中学校教育後援会会長		多久和幸利	

令和５年度　コミセン自主企画事業・地区行事一覧

今年度も下記の通り事業を計画しております。皆さまのご参加をお待ちしています。なお、新型コロナウィルス感染症等の影響により企画が中止・延期になる場合もありますのでご承知おきください。

専門部	コミセン自主企画事業
	事業委員・運営委員合同視察研修会（７月２日）
総務部	文化祭(11月5日)、救命法講習会(6月11日、12月)、防災学習会(8月)、歴史探訪視察研修会(3月)、センター報発行(5回)
健康福祉部	こみカフェ(10回)、交流会(1回)、健康推進啓発活動(随時)
まちづくり部	伊野ベーション(7月、11月)、いがもちづくり(3月)
スポーツ部	かけっこ教室(4月30日)、モルック体験会(8月)、いの～んびりトレイルラン大会(11月12日)、雪遊び体験会(1月28日)
子育て支援部	わくわくひろば(2回)、プチわくわくひろば(撮影会2回、交流会3回)、子どもの目線の写真展とそば祭り(冬頃)

各種団体行事

伊野いち(6月16日、10月20日)
町内対抗ソフトバレーボール大会(6月18日)
国際ワークキャンプ(9月7日～10日)
戦没者慰霊祭(9月10日)
地区民体育大会(9月24日)
敬老会(10月8日)
山崎亮氏講演会(10月31日)
いのはやおちらと駅伝(11月5日)
しめなわづくり(12月17日)
初詣ランニング(1月)
かるた・すごろく大会(1月)

やって未来こい！ネット企画事業

ほたる観察会(6月17日)
しぼづくり教室(6月25日)
eスポーツ大会(7月9日)
プログラミング教室(夏休み)
草刈隊グリーンフォース結成(7月)
ゆめタウン出店(9月30日、10月1日)
クリスマスグッズづくり(12月)
いがもちづくり(3月)
耕作放棄地復活プロジェクト(年間)
スマホ教室(年間)
子ども食堂(年間)
グローバルスクール(年3回)

伊野ふるさと探訪　Part32　～番外編～

「十王堂」（じゅうおうどう）

松枝町内の一畑中道通と市道が交わる川瀬さん宅（屋号：中道）下に 12 体の石造りの仏様が祀られています。12 体とも顔の姿は異なっています。その中一体だけ台座に座り、一段高くなっています。このすぐ右には一丁地蔵が建っています。

（郷土誌研究会　常松 士郎 氏）

児童館長退任

前伊野児童館長　山﨑　功

退任、一身上の都合。児童館長年間、地域の皆様、小学校の先生方、児童の皆様、自治協会、ユニティー出雲市子育て政策課の皆様、大変お世話になりました。未熟な点が多々ありましたと思います。皆様方の温かい協力支援、無事任期満了。心から礼申し上げます。今後「地域の歩む児童館」の発展と充実を祈ります。

和ハーブラボ

タンポポの標本つくり

参加者10名　4/22

地域おこし協力隊である朝枝さんは和ハーブ協会のインストラクターとして身近な植物の魅力をワークショップ等を通して皆さんに発信しておられます。このほど古民家たるみ邸でタンポポの標本づくりを開催。始めにたるみ邸周辺を散策し、花が咲き終わり閉じたタンポポを選んで摘み取ります。そして茎に針金を通し台座に立てます。観察していると1～3日で綿毛に変わります。その綿毛にスプレーして標本の完成です。なかにはドライフラワーを添えて素敵にアレンジした方も。参加者は身近にあるタンポポが花から綿毛へと変化する様子を間近で観察し、愛着が湧いた様子。朝枝さんは今後も和ハーブをテーマに様々な企画を計画しておられるようです。楽しみですね。

出雲大社神楽舞奉納

～伊野神楽保存会～

5/7

伊野神楽（正式名称「出雲大社教神代神楽伊野神楽保存会」代表：西村美佐雄さん）は明治初年から続く神代神楽で、近隣の神社のお祭りの際に神楽を奉納しています。毎年5月の連休には出雲大社で奉納されていましたが近年コロナで中止が続き、このほど4年ぶりに神楽舞を奉納されました。現在16名の会員で月1回練習をしています。（毎月第3土曜日19時からコミセンにて）見学や神楽奉納のご用命も随時受け賜っています。数少ない神代神楽である伊野神楽。大切に後世に繋いでいきたいものです。おたずねは伊野コミセンまで。

お知らせとお願い

イベント・事業や会議の様子をカメラで撮影させていただくことがあります。撮影した写真はコミセンや自治協会（ホームページや広報誌掲載等）で使用することがあります。皆様のご理解とご協力をお願いします。なお、不都合のある方はお申し出ください。

ふるさと広場花植え

5/12

多久和幸広（大畑町内）さんのご厚意によりふるさと広場の周りにマリーゴールドの種を蒔いていただきました。花が咲くのが楽しみです。ありがとうございました。

草取りボランティア

5/21

PTA 主催による小学校の環境整備が開催され、地区の皆さんにもたくさんご参加いただきました。お陰様で校庭がきれいになりました。ありがとうございました。

伊野ベーション トークミーティング開催

5/21

今年度も昨年同様、伊野ベーションの島大生×コミセンまちづくり部員によるトークミーティングをリモートで開催。初めに多久和祥司さん（やって未来こい！ネット事務局長）より伊野ベーションが発足した経緯や伊野地区の現状などについてお話しいただき、その後質疑応答や意見交換を行いました。これを機に学生たちは活動のアイデアがより一層膨らんだことでしょう。今年度の伊野ベーションもどんな活動になるか、楽しみです。

（コミセン　まちづくり部）